

## 潮見地区タウンミーティング

平成23年12月2日（金曜）

【市長】 皆さんこんばんは。平日の夜間で仕事ある方ももちろんいらっしゃったと思いますし、雨も降っておりましたのに、このようにたくさん集まっていたいて本当にありがとうございます。またこのタウンミーティングの開催にあたりましては、潮見地区まちづくり協議会準備会の玉井会長はじめ役員の皆様にはご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、このタウンミーティングでありますけれども、冒頭申し上げますと職員にとってはしんどい仕事をさせております。なぜかと言うと、市役所の中で座って皆さんが来るのを待ってるほうが楽ですよ。でも、やっぱり私たちが市役所で待ったのではいかん、私たちが地区に出向いて行って、皆さんの地区の魅力を聞かせていただく。松山市に何地区あるかと申しますと、公民館本館で41地区に分かれます。41ですけども、ごろ合わせで言えば「よい」ですよ。よい地区が集まって、ひっくり返すと「伊予（いよ）」になります、伊予を形成していると覚えてもらったらと思うんですけど、それぞれに歴史がありますし、特徴があると思います。その魅力、地区の魅力は地区の皆さんが一番よく知ってますよね。まず魅力について語っていただきます。その魅力をしっかりととらえないと、まちづくりが間違った方向へ行ってしまうからです。ですので、地区の魅力についてしっかりと把握していただこうと、これが大事なことかなって思っております。この41地区の集合体が松山市ですから、それぞれの地区がより輝いていただくとその集合体である松山市はより輝くことができると思います。そして地区の課題、問題点についても教えていただきたいと思っております。このタウンミーティングは、やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないというのがモットーでございます。これも職員にとってはしんどいことしております。と言いますのが、そこで聞いているふりをする、楽ですよ。でも必ずここでお答えできるものはお答えをいたします。そして国と絡むもの県と絡むもの、また財政的な問題があるものは、国や県に問い合わせます。答えが返ってくる、それから市としての方針を決めますので1カ月を目安に必ず答えをお返しをするっていう、言ったら2つのしんどいことをさせていることになります。でも、しんどいこと

をした向こうには、市民の皆さんの一層の笑顔があるということを申し上げて、やっている次第です。今日は私だけではなく6人の部長課長たちが来ております。それぞれに担当がございまして専門でありますので自己紹介をさせます。

【市民部長】 皆さんこんばんは、市民部長の三好龍彦と申します。このタウンミーティングを統括しております。そのほか窓口サービスとして市民課、支所、パスポートセンター、消費生活センター、あとわくわくメールといった市民からの問い合わせにもお答えしております。それから市民参画という形で地域コミュニティ、人権啓発と幅広い業務を行っております。

【産業政策課長】 皆さんこんばんは、産業経済部産業政策課の中西と言います。経済、雇用の促進、観光振興、農林水産に関する事業をしております。

【保健福祉政策課長】 皆様こんばんは、保健福祉全般を担当しております保健福祉政策課の大濱でございます。

【消防局総務課長】 皆さんこんばんは、消防局総務課の岡本でございます。常備消防、消防団、自主防災組織、防災全般を担当しております。

【都市政策課長】 皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備部門で道路、公園等の建設及び維持管理を担当しております。

【下水道政策課長】 こんばんは、下水道部下水道政策課の青木でございます。下水道部では下水道事業による整備をいたしまして、川や海をきれいにする事業、それと下水排水路等の整備により浸水を軽減する事業、がけ崩れ対策事業などを所管しております。本日は皆様のご意見をよくお聞きしたいと思っております。

【市長】 という私をはじめ部長課長たちが6人でございます。今日でタウンミーティングは14カ所目ということになります。最初4年間で回りきろうというふうに思っていたんですけども、おかげさまでアンケートをとらせていただいて好評であります。すぐにまちづくり、市政の中で反映できるものもありますので、スピードアップをしてまわっているところであります。今日も皆さんと前向きな議論ができればと思っております。最後に1時間半でありますけども、肩ひじ張っていると1時間半疲れちゃいますので、あんまり肩ひじ張らずにぎっくばらんにやらしていただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【男性】 潮見地区の魅力っていうテーマになってますが、私から、潮見地区の現状、お話ししたい。「そんなことわかっとるわい」とそんな部分もあろうと思いま

すけれど、映してみます。これを見ながら、潮見地区とはどういう地区なんだと  
いうのを理解していただいたらと思ってます。

—— 資料をスクリーンに映しながら説明 ——

潮見地区は8町で構成されてます。吉藤、谷、平田、志津川の東、西、それと森  
田団地、鴨川団地と。それで地区の概要ですが、地区の人口が約11,000人  
です。世帯数にして4,600世帯。面積が6.73平方キロメートルです。こ  
の城北地区、潮見、久枝、和気、堀江、で面積が一番大きいのが堀江です。その次  
が和気、その次が潮見、次が久枝と。人口で言いますと一番大きいのが久枝で大  
体2万、19,800ぐらいになってます。したがって吉藤は面積的には広いけ  
れども、人口は久枝に比べますとちっちゃい。これは山間部が多いのかなと思っ  
てます。それと、国道196号沿いの広大な果樹園と水田地帯だった。それで有名  
なのが「宮内いよかん」の原産地でありいろんな柑橘類が多いんですけども、  
あとで多分話が出るんじゃないかなと思いますけど、後継者不足とか、価格の低  
迷とかいろいろありまして、放置された果樹園が大分増えてきてます。近年、新  
興住宅地とか企業が大分できて、都市化が進んできております。神社、仏閣、歴  
史が多く伝説や民話も数多く残ってる地域です。

次に、潮見地区の現状と課題で、皆さんに頭の隅に置いていただいたらって  
いう部分をつくってみました。一つは、世帯の増加と核家族化ということで、これ平  
成2年、12年、22年、10年おきに作ってるんですが、人口が平成2年約1  
万。それからずっと増えて、平成12年に10年間で768人増えてるんです。  
ところが、12年から22年になりますと25人しか増えてない。これからず  
っと横ばいになってくると思います。ところが、2年から12年に世帯数が653  
世帯増えてます。そして12年から22年になりますと、554世帯増えてる。  
人口が25人しか増えてないのに世帯数が、554世帯も増えてる。いわゆる核  
家族化です。これがどんどん進んでる。平成2年当時は1世帯に3.07人いた  
んですが、平成22年になると2.43人、ずっと減ってます。次が、高齢者の  
増加ということで65歳以上の高齢者人口、2年から12年で524人、12年  
から22年になると722人増えてる。ものすごい高齢化が進んでる。次が平均

年齢見ますと、平成2年で34歳、12年で38歳、22年で41歳。こういうふうにならな高齡化になつてきています。核家族化とか高齡化社会が到来してゐる。したがつて高齡者の世帯、もつと深刻なのは、独居の高齡者も増えてゐると思つてます。一番下の年齢を見ますとこういう形で平均年齢が上がつてゐる。こういうことを要素にして、家族間の対話が減少、隣近所のつながりが希薄になつてくる。それで地域活動への参加が減少ということで、コミュニティの崩壊現象が起きてきてゐる。早くこれを、いろいろな施策で食い止めないかん。そこでまちづくり協議会をつくらう。みんなで潮見地区を良くしていこう。いろいろな団体が協力しながら、まちづくりをやっていこうという形で今ちょうど準備会ができてゐるところです。正式な協議会を立ち上げるために、皆さんが、各団体が努力をしながら活動をしてゐるところです。次に、活動紹介。一つは大きい公共機関として小学校。これは、校訓が「明るく優しくたくましく」。中に思いやりのある子がゐます。皆様ご存知だらうと思ひます。目の見えない「ダンちゃん」ですね。本なんかで全国的に知られてゐると思ひますけれども、これを題材にして、道徳活動の充実を工夫してゐる。思いやりのある子どもを育てようということ。次のたくましくつてゐるのは、真つすぐたくましく伸びるホソイトスギという木がゐます。校訓のたくましくのシンボルとして、潮見小学校に植わつてゐます。この木はいろいろいわれがゐるまして、最初植えたときは全国で50本くらいしかなかつた。イタリアの木らしいですね。それを種から育ててゐた。育てた当初は、愛媛県に潮見小学校だけにありまして。次にスポーツです。これは体力づくりです。バレーボール、サッカー、ソフトボール等の活動をやつてゐます。文化として、水軍太鼓を各種イベント等で演奏してゐる。それと鴨川中学校ですが、潮見からもたくさん行つてゐますが、吹奏楽部で全国大会で銅賞を受賞した。次に各種団体等の地域活動ということで一つは公民館活動がゐます。一つ紹介します。公民館で幼児含めて子どもさんに読み聞かせをやつてゐるのは潮見だけと聞いてゐます。ボランティアの10人程度で読み聞かせ等を実施して、家族の方が参加して好評になつてゐます。そして、児童クラブとか、保育園への出前の読み聞かせ講座もやつてゐるやうです。町内会活動これは地域コミュニティの発展ということで、秋祭り等を中心に各種団体間の触れ合いをやって、コミュニティの発展に努めてゐるということ。それと社協民協さんの活動ですが、高齡化社会がきてゐます。したがつ

てここの活動が非常に大切になってくると思っております。高齢者対象の各種の講座、イベント等の実施、それと独居老人へのきめ細かな見回り活動等を実施しているというところです。

【市長】 魅力がほかの方からまたありましたら。

【男性】 潮見の魅力は政治に熱心であって県会議員、市会議員、本当に素晴らしい政治家が生まれております。そして、みかん産業門屋常五郎、門屋禮三郎、寺井信隆、見事な人が潮見には育って、今おりませんけれども、これから発展するであろうと思います。そして、非常に教育が熱心で教育者が多いという本当に自慢ができる潮見でございます。今は県会も市会も議長をやっております。自慢できます。

【女性】 先日も事例があったんですが、高齢者のことです。民生委員の隣の奥さんが、奥さんのご兄弟が徳島のほうにいらっしゃるのに朝から電話するのに出ないので見ていただけないか、ということだったらしいです。電話を受けた方がうちの民生委員のところへいらっしゃいまして、何度もお電話もするし、ドアホンも鳴らしても全然応答がないので困ったないうことで相談受けまして、そこのご主人さんは入院して、それで奥さん一人だったらしいです。とりあえずその病院へ電話したら今日は来てらっしゃらないということで、もう一度班長さんと一緒にお家をぐるっとまわったらほんのちょっとだけカーテンがすいててそこから見たら、倒れてたらしいんです。それを徳島のお姉さんに連絡しようにも電話番号がわからなかった。そういうこと聞いたときに高齢所帯もだんだん増えてますから、お隣、両隣り、前後の方ぐらいには連絡先をお知らせしとったほうがいいんじゃないかと先日も重ねて思いましたので、ここでまたお願いしたいと思います。

【保健福祉政策課長】 松山市では高齢者が地域で生き生きと住んでいただくため、また安心して暮らしていただくために、民生委員や社会福祉協議会などと連携して総合的な高齢者のサービスに努めているところでございます。そうした中でひとり暮らしの高齢者が安心して生活をしていただくために、「独居高齢者みまもり員」制度を設けて、民生委員やあるいはおおむね65歳以上の方で支援が必要な方、個人情報関係ございまして希望される方ということではあるんですが、定期的に自宅を訪問させていただいて声掛けをさせていただく事業を行っております。また、緊急時には緊急対応として連絡いただくシステムを設けて、配

食サービスや乳製品の配布など行っておりますけれども、今お話しになられた、やむを得ず緊急に自宅に入って確認をする必要があった場合、例えばドア、あるいは窓をやむを得ず開けるということも踏まえて、そういったあとの保障についても社会福祉協議会で対応する制度を設けておりますので、より早く地域で助けをいただくということを第一に行動をしていただければと思っております。

【市長】 別の地区のタウンミーティングでもあったんですよ。そういうときに窓ガラスとか割って入っていいんだらうか、というのがありまして、それについては、安全を確保するためだったら窓を割って入っても構わないということで。

【保健福祉政策課長】 結構でございます。

【市長】 皆さんの安全安心が第一だということでございます。私から言わせていただくと、やっぱりこれは現代社会の悩みだと思うんですけども、とにかく「こ」、個人の「個」、孤独の「孤」が目立つ世の中になってきました。それを潮見だとお神輿のかき比べがあったり農家も多かったりでまだつながりが深いほうだと思いますけれども、つながりのある社会に戻したいと思っておりますので、本当にこの辺が悩みであるところでもありますね。

【男性】 支所に連絡することを徹底したら警察も谷町にありますんで、連絡してもらうことをすれば今のような大きな問題じゃない。

【保健福祉政策課長】 支所にご連絡いただいても結構ですし、例えば地域包括支援センターもございます。そういったところに連絡いただいて、速やかな対応をとっていただくということを考えておりますので、そういった連絡をいただきながら職員と一緒に対応してまいりたいと考えております。

【市長】 今、課長から言いましたみまもり員。これは平成22年度が350名だったんですけど、よりきめ細やかな対応をしようってことで410名に60名増やしました。言われるのがみまもり員に月々いくらかお渡しできてるかっていうと月々千円なんです。これ少ないって思われるかもしれませんが、これ意味がありまして、例えばぐっとお金を上げると仕事っていう側面がかなり強くなります。そうなるといわゆる孤独死の方を見つけられなかった場合、責任を問われる方向になりかねないので報償費という形で、ボランティア的な要素が強いということで千円なんですけども、それにしてもちょっときめ細やかな対応ができたほうがいいのかということで350名から410名に拡充したところです。そういう形

で、よりいい対応ができればと思っています。

【男性】 みまもり員は私民生委員しておりますから市長さんも覚えておいてほしいんですが、多い人は18人持っております。ひと月に18人まわれといたら大変なことです。お年寄りの話ばかりしたら面白くないので小学生の話をしたと思います。私、放課後「いとすぎ教室」に行っていますが、4年生がこう言ったことがあります。「潮見の里巡りは来年もあるか」「あらいや」「どしたんぞ」「5年生6年生になったら行きたいところを5年生が今年行きよる、6年になったら僕らも行けるんやろか」つまり、小学生が誇りに思ってるんですよ。そういうことをぜひ覚えておいてほしいということで発言をしました。それからもうひとつは、今市長さんが最初に職員がきついことやらしよりますと言いました。ここへおいでる主事さんらもよくやってくれています。支所長さんもその職員さんもよくやってくれています。市長にぜひお願いしたいのは「お前らようやととの」と現場行ったときにはぜひ褒めてあげて下さいや。以上感想ばかり言いましたけどこらえて下さい。

【市長】 民生児童委員については義理の父が民生児童委員をしてみましたのでそれだけ大変かは知っているつもりです。でも、実態は皆さんのほうがよくよくご存知かと思しますので本当にありがたく思っています。「潮見の里巡り」あるのは知りませんでした。本当に潮見のこと誇りに思ってくれてるのはありがたいなと思っています。できる限りバックアップをしていきたいと思っています。やっぱり歩いたら、よくわかるんですよ。吉藤のほう、上がっていったら季節だとみかんの花の香りがしたりするんですよ。これ、松山、愛媛ならではですよ。やっぱり歩くと、バイクや車もええですけども、それではわからなかった発見があるので歩くっていうことを大事にしていいただいたらと思います。あと職員の話でありますけども、褒めるときは褒めてますよね。でもね、3,400人職員がおります、笑ってばかりでは務まりません。とにかく市民の皆さんの笑顔のために動いてもらわないとしょうがないですから、動きが悪いと思ったら厳しく言いますし、褒めるところはもちろん褒めたいと思います。そうじゃないと人間は、伸びないと思いますので褒めるところは褒めていこうと思っています。ただ、3,400人おる中にはどうなんだろうっていう職員は確かにおりますので。まあ組織は難しいですね。みんなが本当に前向きな仕事ができるようにそういう状況つくっ

ていきたいと思っております。

【男性】 この地域には老人福祉施設がございません。いわゆる特別養護老人ホーム。松山市内にはたくさんあるかも知れませんが、やはり地域的なことも考えて、施設ができることによってその地域の福祉の輪が広がる側面もありますということではぜひひとつお願いしたいのと、もう一点、同じ施設のうちで児童館もありません。この地域は若い方がたくさんおいでます。子どもさんもたくさんおります。だから歩いて行ける範囲で、児童館の整備が必要じゃないかと考えております。私民生委員をしておりますので、つくづくそのへん感じます。よろしくお願ひします。

【保健福祉政策課長】 老人福祉施設のことについて申し上げますが、老人福祉施設については今年度、24年度からの地域福祉計画を策定中でございます。これは松山市の総合計画に基づいた福祉部の最上位の計画でございます。ただ、老人福祉施設については今現在民間の活力を大いに利用させていただく施策が主流、成功しておる、民間サービス民間の活力、民間の力を取り入れながら行っていくことを主眼に考えておまして、計画の中で民間の潮見地区にそういった計画があるかどうかはまだ見えておりませんが、総合的に判断しながら検討して参りたいと思っております。よろしくお願ひをいたします。

【市長】 引き続き私から児童館についてお話をさせていただきます。今、児童センターとか児童館は、松山市には7カ所あります。若草町にあります中央児童センター、三番町の新玉の児童館、別府町の味生の児童館、そして久米の児童館、久枝の児童館、畑寺の児童館、南部児童センターが古川にあります。これが地区ごとに設置するのではなくて、人口など各地域のバランスを見ながら東西北南で各方面ごとに核となる施設をつくって、近隣をカバーする形でやっているところです。実は北条でタウンミーティングやったときに、「北条の児童館ないんです」と。で、「どこ行きよんですか」と言ったら「久枝まできてます」と言う話なんです。で、やっぱり北部、北条の方からすごく求められている状況ではあるんです。だからって北条で決まりですってという話ではないんですけれども、申し訳ないんですけれども、潮見の方には久枝に行っていたらと思っております。ただ、次世代育成支援対策推進法に基づいた行動計画で平成26年度に8カ所という目標つくってます。ちょっとこれ市長の夢というか個人的な思いですけども、三番町に

「子どもの家」ってあったの覚えてらっしゃいますか。これから、街中の子どもが集える場所っていいと思うんです。それは公共の交通機関電車とかバスを利用して、子どもたちが土日にそこで遊べる場所を、まちの真ん中につくったらと思ってます。それはこれから、少子高齢化ますますお子さんの数が少ない、高齢化進んでいく中で都市を集約していく話が国でも出てるんです。松山はそういうのにふさわしい都市なんです。コンパクトシティって言うんですけど、松山はぐっと街中にいろんな機能が集まるとかやないですか。これからのまちに松山はぴったりのまちなんですよ。東京のある区では路面電車を復活させようという動きが出てくるくらい公共の交通機関、路面電車残ってるっていうのは非常にありがたかったことなんですよね。もうひとつ、松山は坂が少ない。呉市なんか坂が多いんですよ。坂が多いまちやったら歩くとか自転車しんどいですよね。でも松山は比較的歩くのに適してる、自転車適してる、そういう遅い交通っていうんですけど、歩いたり、自転車に向いてる都市なんでコンパクトシティでもあります。まちの中心にいろいろつくっていくというのはこれからの視点としてあるかなと思っますので、ちょっと将来的な話になるんですけども、市長の思いとして「昔の子どもの家みたいなんが復活できたらええな」と。でも、お金も要る話なんで、いろいろハードルはある話とは思ってます。ちょっと市長の夢ですね。そんなのを考えてます。

【女性】 先ほどの児童館の話ですけどよく子どもを連れてコミセンの児童館行きます。コミセンの児童館は車もとめやすいですし、よく活用させていただいてるんですけど、コミセンって、公共のバスとかそういう手段がちょっと悪いですよね。もうちょっと行きやすい、歩いては市駅から大変ですので、もうちょっとコミセンに行きやすい交通があったらいいなと思います。

【市長】 わかりました。これは持ち帰らせていただいて必ずお答えをいたします。

【男性】 私は、昭和50年にこちらへ変わってきたんですけど、それ以来まだここには下水がないんです。農業用水とかに各家庭からの汚水とかが流れこんでる。そこの吉藤川ですか、汚いんでせつかく小魚がおるけども取っても食べられる、食べられるちゅうたらおかしいですけども、できないとかそういう話をよく聞きます。もう30年も経って何ら進展というか、下水の工事が始まったという

話は全然聞いてません。北部のほうに下水処理場ができてからやるという話は時々聞きますけど。で、現在どのような形で、そこら辺の進展状況をお聞かせ願いたいと思います。

【市長】 ここ潮見は北部の、場所で言うと勝岡が近いですかね、あそこが処理場になりますけれども、松山は、中央、西部、北部、北条の4処理区に分けて公共下水道の整備を進めている。潮見は北部の処理区になります。

下水道の整備スケジュールがありまして、以前松山市の下水道計画はこうやって進めますっていう計画があったんですけども、お金がかかりすぎるということで縮小した経緯があります。

【下水道政策課長】 少しだけ説明をさせていただきます。先ほど市長申したとおり潮見地区北部処理区ということで処理場を平成7年に建設しました。和気にございます。下水道事業、大きな処理場をつくってそこに家庭から出たトイレの水であるとかお風呂の水、台所の水、それを流していきます。それを自然流下方式と言いまして川の流れのように自然に処理場まで水を導いていくことが原則になっておりますので処理場ができた周辺から順番に上流に向かって整備をしていくということになれば工事が進めない一つルールがございますので、その点をまずご理解をいただきたいと思います。ですから道路の下に下水管を埋設しておるんですが、皆様方に見えるのはマンホールの蓋が道路上にぽつんぽつんとそれしか見ることできないですけども現実には道路の中に、松山市で一番大きいのは直径3メートルぐらいの管がございます。そういうのを順次下流からずつつくっていかないかんということがありますので、道路整備のように一部ここ飛ばして次ここやろうとかできないという事情でまだこちらのほうにきていないということでご理解をいただきたいと思います。そして整備スケジュールの件ですけども、一番始めに下水道整備の構想をつくったときには、平成34年ぐらいを目標に松山市の下水道の整備を90パーセント以上伸ばしましょうという計画をしておりました。ところが、処理施設、下水管そういうの入れてますと非常にお金もかかって、一般会計、市長部局のお金と一緒に借入金もできてきておりました。このままでは使用料金だけでは下水道経営できないということで、少しスピード落とさないかんという事情もございました。そういう中で整備が遅れて、まだこちらの地区のほうには下水が届いていないという状況でございますが、少

しでも早く効率的な事業を執行して、地域を広げていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

【市長】 課長、最初の計画だったら何億円ぐらいかかる計画だったから、これだけにしたとか言えますか。

【下水道政策課長】 全体事業費っていうのは今すぐお答えせんのですけれども、1ヘクタールあたり大体3千万とか4千万とかいうお金がかかりまして、一人あたりでは100万から150万ぐらいのお金がかかっております。最近の工事では。そういうところで事業費を人件費含めて圧縮をすることで頑張っておりますのでご理解をいただきたいと思っております。

【男性】 堀江の西住宅、既に下水が通ってんですよ。和気の一丁目、二丁目かな、一部既に通ってますね。先ほど課長おっしゃったように、水の流れによって下からきておるんですが、その進捗率は何パーセントくらいですか。

【下水道政策課長】 北部処理区の事業認可区域の中の整備率というのは68パーセントという状況になっております。

【市長】 松山市の財政の状況をお話しさせていただくんですけど、中四国の中では比較的いいって言われてるのが松山市の財政です。それは先ほど申し上げたように下水道の計画が大きすぎたから削減しましょうっていうこともさせていただいてきたから比較的いい状態であると思うんですけども、中四国の中では二番目にいいって言われています。一番は徳島県の阿南市で、ここは青色発光ダイオードの大きい会社がありますから、この関係で非常に財政がいいって言われています。松山市は2位。ちょっと円グラフを思い浮かべて下さい。1年間にお金が入ってくるのを歳入、お金が出て行くほうを歳出っていうんですけども、出て行くほうの円グラフ。一番大きなウェイトを占めるのが4割を占めます民生費、いわゆる福祉にかかるお金です。これが前の年と今の年で50億増えました。そのうちの生活保護費、これも大事なお金ですけども、前の年から今の年で20億増えました。国はどれだけの借金を抱えているかというとおよそ1千兆円と言われています。誰か止めるやつおらんかったんかい、というふうなことを思うわけです。地方交付税交付金とか国庫支出金と言いまして、国から地方に下りてくるお金がある。でも、国が1千兆円の赤字抱えてますから当然地方にはあんまりお金下ろしたくないと考えるとこれから地方の自治体どころですけども、財政が

膨らんでいくほうはちょっと考えにくいですね。50億増えたらどっかで50億削ることを考えんといかん。生活保護費が20億増えたんだったらどっかで20億削ることを考えないといけない。以前の高度経済成長の時代だったら、どんどん税収も膨らんでいく、日本の経済も良くなる。そういうときだったら「いいですよ、じゃあこれやってあげましょう、あれやってあげましょう、これやりましょう」言ったら市長の人気取りにもつながりますよね。ある意味。私もそれできたら楽ですよ。「わかりました、それやりましょう、あれやりましょう」でもそれをできない、しないのは、将来の子どもや孫へつかけを残すことにほかならない。お金をどんどん使ったらやっぱり財政は下り坂になる、これは将来の子どもや孫につかけを残すことにほかならない。自分の生まれ育った松山の財政を悪い状態にして後の世代に引き渡すことはできない、だからって言って何もしないわけじゃないんですよ。松山に必要なことは何かを考えて、選択と集中でやっていくのは今の市長とか町長のやるべきことなんじゃないかなと思ってます。財政全体を見ながら今やるべきことは何かをよくよく考えてお金を使っていかないと大変なことになってしまう。だから皆さん言われたことに対して「やりましょう」ってすぐに言えなくて本当に申し訳ないと思うんですけど、そんな状況にあるということです。この話をすると皆さんが後で手を挙げづらくなったり、「市長、金の要る話して申し訳ないんですけど」とか前置きされるようになるんですけど、そこはあまり気にしないで言っていたらと思います。

【男性】 下水道事業期待しとるのはわからんわけではないんですけども、現実には下水管がきた私とこつけますかっていった段階で、大体30万ぐらい個人負担が要るし、上水道の水の使用量に比例していくと、みんなその段階でやめたっということになっとるんですよ。現状は。そのへん課長さんも言ったほうがいいと思うんですけど。

【下水道政策課長】 確かに、下水道事業はお金がかかります。今言われた30万と言いますか、それは各ご家庭によって違うんですけど、下水道事業では、事業最初に行うときに受益者負担金をいただきます。それは1平米あたり250円で100坪のお家の方で約8万円をいただきます。あわせて後々の下水道使用料ということで水道料金並みのものもいただくようになります。そして費用の面でいきますと、家庭の中を分流化と言いまして、汚水と雨水を分けていただかない

かんことがご家庭によっては必要になってまいります。下水というのは雨水は川に流してトイレの水とかお風呂の水、台所の水、こういうものを川に流しては汚くなるので下水に取り込むということですから家庭の中の配管を、汚水と雨水を分けていただくというのでご家庭によっては30万かかるところもありますし、建築したときに分けていただいておりますところはそうはかからんところもあります。そういう中で「30万かかるけんもう嫌よ」言われると我々も困りますので、そのあたりは下水道整備課が工事着手する前に地元説明会もごございますので、ご相談いただければご負担を少しでも軽減できるようなことを一緒に考えさせていただきたいと思っております。

【男性】 この城北、潮見、堀江、久枝、和気ですね。この地区大体人口が6万か7万かなと思うんですが、総合病院がないんですよ。城北で言えば日赤あるじゃないかと言いますが遠いんですね。日赤の話ですが、もう何年か前から東長戸に来るとか来んとか話がございまして、我々の希望は、やはり安心できる医療機関が欲しいわけです。それに加えて、今本町で市内電車がとまっておりますが、これを堀江あたりまで延ばしていただきたい。そうすると活性化が相当できるんじゃないかと。このあたり国や県との関連があると思うんですが、何か進展がどんなかなというところなんですけど。

【市長】 では私のほうから。日赤を視野にいったお話ですけど、やっぱり大きい病院があると安心だっというのですごく希望が多いんですよ。もともと今ある地区の方々からもここから離れんとしてねっという要望があがってきてたと思います。また、私が聞いた記憶があるのが松前の人「日赤来て下さい」というご意見があります。確か伊予市もあったと思います。皆様のご希望はよくよくわかるんです、大きい病院があつたら安心だなということで、これが例えば松山市立病院やつたら、検討の仕方もあると思うんですけども、日赤さんが主導権をもって選ぶ、そういう状況になります。電車が延びたらいいなっという話もわかります、やっぱりこれも伊予鉄道さんが。それは便利だっというのはよくよくわかるんですけど。これは選択と集中で、本当に何からやるべきかっというのがあるんですね。この間、日浦のタウンミーティングに行ったんですけど、日浦は、公共交通でいうと伊予鉄の朝の1便と夕方の1便しかない。都市間交通バスっていう松山と今治を結ぶ瀬戸内バスのバスがあるんですけどこれは、1時間に1本く

らい頻繁にあるんですよ。日浦の方々が思ってるのが、石手に大きいスーパーがあるんですけど、石手にとまってくれたらいいのっていう希望があるんですけど、瀬戸内バスからすると都市間交通バスで早く行きたいから石手にとまっちゃうと時間がかかっちゃうみたいなところがあって、ちょっと調整はできるかなということいろいろ諦めずにやってみようとは思ってるんですけど。そんな現状もあります。本当悩ましいところすみません、はいつて言えなくて申し訳ないんですけど。ご希望は何っておきます。

【男性】 9月10月頃は道後温泉の駐車場がテレビ出よかった。いつ見ても駐車場空いてる、あれ、空いとんじやったら何とかならんかなと思うんですが。私もあそこ行くと、車置いて風呂に行つて次上がっていくのしんどいんじや。北側のどこぞにエレベーターつけてもろたら。それで、1時間の駐車場ではいかんで、2時間くらいみてもろてそれならんかなと思つて、それ考えてくれんかなと。

【産業政策課長】 産業経済部です。道後温泉の冠山の駐車場の話ですね。実はあそこは湯神社の借地なんです。私どもの土地であればまたいろいろと考慮できるんですけど、借地ですし、エレベーターを設置するだけのスペースもない。それで車の進入路から入っていきますとかなりきついので、北側に遊歩道みたいな形でちょっとゆるやかに設置させていただいているのが現実で、確かにお年を召した方、きついと思いますけれどご了解をいただいたらと思います。

【市長】 駐車場の料金のことについても、以前、60分刻みを90分にしてくれんかみたいなわくわくメールがきたんですよ。それは女性からだったんですけど、髪乾かしたりしよったらちょっと慌ただしい、せつかくの道後温泉だからゆっくり楽しみたいっていうので、担当に調べてもらったら経緯があつて、90分はちょっと難しいことがあつたんですけども、そういうご意見はこれまでもいただいたことがあります。今エレベーターっていうので思い出したんですけど、今、公民館の改良ができないかなつて思つてるんです。今日潮見の公民館に来て立派だなというふうに思つて、ただただ気になつてるのはあの張り紙が破れてるのがすごい気になるんですけど。どこの費用で直すんですかね。

【市民部長】 これは教育委員会。

【市長】 ちょっと気になるので教育委員会に伝えとってください。そして、昔の公民館で驚いたことがあるんですけど、3階建てでエレベーターありません。

3階に大広間があって、おじいちゃんおばあちゃんが一生懸命階段を上がられてのを見たので、利用者数とか年数とか、耐震化とか見ながら、そういう公民館にエレベーターを設置するのも大事なことと思ってます。もう一つだけ。歩くことについてのお話です。さっき私が遅い交通、歩くとか自転車ってお話ししましたけども、歩いて暮らせるまちづくりをしたかって思ってるんですね。それはお年寄りの方にむち打つ話ではなくて、国でも言ってますし、データがあるんですけど、これまで以上に3千歩歩いていただくことができれば、医療費が3パーセント削減できるっていうデータがあったと思います。これからの日本、また、地方の課題っていうのは、医療費をどうしていくんだっていうことがテーマになっていきます。できるだけ予防できるものは予防していただけると医療費で削減できる、ほかに使えるんです。予防できるものは予防したい。小学校では熱心に歯磨き指導するんですけど、中学校になるとぱたりとしなくなるんですよね。虫歯ができる。虫歯ができれば医療費がかかる。何で中学校になったらぱたりとやめてしまうんやろう、歯磨き指導をこれからやるようにしよう。歩いていただいて医療費を削減することも大事なことになってきます。実際、脳梗塞、脳卒中とかになられて麻痺が残ってしまった。ずっと外に出るのがおっくうだ言うたら悪くなっていく方向ですけど、ちょっとでも歩いていく方向になると回復も早いんだそうです。ですので、歩いて暮らせるまちづくり、歩いて楽しいまちづくりをやっていきたいって思ってて、花園町通りの話が出てるのもその一環なんですけども、例えば水がある、緑がある。歩くの楽しくなりますよね。そういう形で、歩いて楽しい、まちに出たくなる、歩きたくなるまちづくりをやっていきたいと思ってます。おじいちゃんおばあちゃんにむち打つ話じゃなくて、歩いていただくことも大事だっていうのを申し添えさせていただきます。

【男性】 その南側の水路が大雨が降ったら緩むんですが。改良区さん何とかならんかなということで車庫の車なんか水没するし、それから通行するとき、車も動かんようになったんですが、今年の夏なんか、7月頃やったかな。

【市長】 駐車場水没しちゃうんですか？

【男性】 その上には大きなアパートがあるんですが、それは民地を通過して大川へ放流しとんですがにおいがするからどうにかしてくれと、改良区さんに。それで、北側には小さな水路があるんですけど、その単独漕でつくったときにはあれ

は昭和40年代くらいだったかな。だから、ちょっと40年近く経つものかな。それを改良区は北側へ流すんだったら合併浄化槽にして下さいということで、この間許可したんですけど、今、合併浄化槽は補助が出るんでしょうか、その2点。

【下水道政策課長】 まず1点目の駐車場水没する、緩むというお話なんですけれども、下水道部で改良区からの申請を受けて、下水排水路工事というのを実施をしています。申請を出されているかどうか私今ここで答えできないのですが、場所を確認させていただいて対応をさせていただきたいと思います。合併浄化槽の補助は環境部来ておりませんので。

【市長】 持ち帰らせていただきましょうかね。

【下水道政策課長】 基本的な考え方だけ説明させていただきますと、下水道の区域外であれば、合併処理浄化槽について設置補助をしてるんですけれども、新設の場合は処理区域内かどうかもありますので改めて確認をさせていただいてお答えさせていただきます。

【女性】 潮見山の付近ですけど、家が建ってるところは壁面コンクリートしてるんですけれど、崖、土とか石とかがごろごろと落ちてきて、今の状態がわからないんですけど、1年未満の段階では下側に家が建ってないのでコンクリートをすることはできないっていうことだったんです。それで、雨が降ってくると子どもたちも通学路になってるんで「ここは走って行け」とかいうことがあるので、いつ崩れるかもわからないし、雨が降ると本当にもう崩れてるんですよ。市のほうなのかどうなのかわからないんですけど、どうにかならないかなと。ちょっと地域のことではないんですけど、風和里のところの北条スポーツセンターですけども、利用料が1時間が千円って高いんですよ。武道館になると4時間で3,200円くらい、新しいのはわかるんですけども、主婦が集まってしていることなので、少しお安くなればとお願いします。

【下水道政策課長】 崖崩れは下水道部が所管をしてるんですけど、法律的事実を説明してもらいますと、急傾斜地ということで高さが5メートル以上、それと人家が一戸以上で自然崖であるということで我々も取り組んでおるんですけど、後ほど状況等確認させていただいてお答えさせていただきたいと思います。

【市長】 すみません、やりっぱなし、聞きっぱなしにはしませんので。風和里

のこと私から続けてお話をします。風和里の料金については、わくわくメールが来たことがありますして、担当に経緯を聞いて、あ、なるほどと思ったことがあるんです。経緯はあると思うんですけども、実際利用される方がそういうご意見があるってことでするので、持ち帰らせていただいてこれもこの間言ったんですが、松山市の公共施設がいろいろあるんですけど、松山市、北条市、中島町でしたからそれぞれの時代に施設つくってるので利用率の低いものもあるんですよ。もし料金を下げたら利用率が上がるとか、何か取り組んだら利用率が上がるんだったら、皆さんが使いやすくなるんだったらいいじゃないかっていう発想で、ちょっと利用率出せって言ったことがあるんですけども、そういう中で考えさせていただきます。持ち帰らせていただきます。

【男性】 先ほどの崖崩れの件ですけど、場所は潮見山の下、実は途中で民地があるんですよ、5メートルぐらいの。今年の夏2回ほど大雨が降ったときに私の頭ぐらいの石が道路まできとんです。ちょうど通学路になっとんです。それで松山市に来ていただいて検討していただいたんですけど、途中で民地があります。その民地の方にやってもらわんと市では対応できんのですと。ちょうど、子どもがいっぱい通るところなんです。確かに道の真ん中よりまだ田んぼのほうの下屋敷のほうまで大きな私らの頭みたいなんが3つも4つも転げました。これからもあることだと思います。あそこは。以上です。

【市長】 そうですね。安全、安心にかかわる話ですので。後で場所確認させていただきます。

【男性】 町内会と改良区通じてお願いには行きました。来てももらいました。写真も撮って帰られております。

【市長】 そうですね。わかりました。

【女性】 松山に住み始めて10年ぐらいですけど、自転車専用道路が平和通りだけしかない。今、自転車の交通問題って結構問題になってると思うんです。実際自分の目の前で人が飛ぶところも見ましたし、おじいさんが信号待ちで止まっているのに突っ込んできたこともあったんで、そういうところは今はどういうふうな進み方してるのかなっていうのもありますし、これ以上道は広がらないのかなっていうのもありますし、バスの路線もおかしいなっていうのもあるんで、その辺ちょっと聞かせてもらえませんか。

【都市政策課長】 今おっしゃられましたように自転車問題は今盛んに言われて事故等も結構多い状況ですが、今自転車のマナーということですけど、自転車は軽車両で本来なら車道を走らなければならない。しかしながら高齢者とか危険を感じた場合は歩道それも徐行しながら走りなさいというのが一般的な交通規制ですけど、松山市におきましても千舟町通りとか花園町通りとか、また今回一番町通りなどで自転車の社会実験で、どういう形で自転車を通ってもらうとか人の安全性を確保するとかいうこと今実験行っております。そういうのを踏まえながら検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【市長】 そうですね。今まさに社会実験をやることによって、この間出ていたのが一番町通りで自転車の通りを一方通行にする試みをしていこうってやっているとところです。私も危ないなっていうのはよく見てます、私が怖いなって思ったのが中学生とか高校生が角をブレーキなしでびゅんと出てくるんですね。あれが恐ろしくたまらないんですけども、「市長と語る若者会議」という、高校生や大学生が集まって将来の松山どうしていこうっていう会議があったんですけど、そこで一番多かったのが自転車問題。高校生のマナーが悪いな、中学生がマナーが悪いな、大学生のマナーが悪いなと思ってたんですけど、かたや、大学生、高校生たちも危ないなと思ってる。乗る側でもあるし、被害を受ける側でもあるのかなと思ったんですけど、今本当これに直面してますんでいろいろ社会実験もやっていこうかっていうところです。私も本当に危ないと思っているので警察の交通のほうにもっと働きかけてくれということでだいぶ最近の安全教室も変わってきましたね。以前は小学校で「横断歩道の渡り方こしましよう」とか言ってたのが、最近の高校の交通安全教室なんかスタントマン使って本当にはねられる様子を見せて「危ないやろ」という、そこまでなってる状況があります。いろんな取り組みをしてるんでしょうけど、一人一人のマナーというところもあってなかなかあっていうところではあります。でも、ちゃんと取り組んで行きたいと思ってます。

【男性】 災害の備えで、防犯灯についてお聞きしたいんですけど、ソーラーかLEDを使って防犯灯の電気料を少し安くできないかっていうこと。町としても結構電気代かかっているんで。それと今のやり方だと夜じゃたらいっぺんに真っ暗になってしまうんじゃけど、その方法であれば何時間か余裕が取れるというところでこれはぜひ市として取り組んでいただきたいっていうのが私の質問です。

【市民部長】 今、市が公共施設つくるときにはソーラーパネル、中水とか、とにかく環境に負荷の少ないものを検討しております。中水って雨水使ってトイレ水使うとかですね。それからソーラーパネル使って電気をできるだけ自前で発電しようという取り組みがあります。

もう一つはLEDですけども、防犯灯でも現在松山市でも、モデルケースで何ヶ所かLEDを使っております。その結果、確かに明るくなるし電気料も下がるんです。ただ問題は今防犯灯市内で3万灯ついてるんですけども、単価がまだまだ蛍光灯にくらべて高いんです。ですから3万灯で今考えられとる経費が大体一灯が5万円ぐらい、3万灯5万円で15億円かかるんです。今、年間3千万円あまりの予算で徐々にやっています、ただLEDは効果があることはわかっておりますのでもう少し単価が安くなってくると思います。そのどこかの段階で切り替えは検討していこうと考えています。以上です。

【男性】 1点目は先ほどから出ておりました公共下水道整備が非常に遅れとるということで水路が非常ににおいがきついのと蚊が発生してもうどうしようもありません。家から出たら蚊に刺されます。もう4月くらいから現在でもたくさん出ておりますけど、刺すのは大体10月末くらいまででしょうかね。そういう状況で公共下水の整備が遅れておるのであればその区域につきましてはにおい対策とか蚊の対策、消毒するとかを、ひとつお願いしたらと思いますが。私が住みますのは吉藤四丁目ですけど、全体歩いてみますのにやはりたくさん蚊がおります。それともう一点は、交通事故が非常に発生する十字路があります。この公民館の前の日東の前を東へずっと上がって吉藤二丁目、三丁目、五丁目、四丁目のちょうど接点になる十字路があります。

【市長】 散髪屋さんのところ？

【男性】 そうです。あそこは非常に交通事故が多いです。そこの近くに住みますので交通事故車同士が接触してものすごい音がするんですけど、たまげていっつも出るんですが、その辺の状況の把握は市ほどの程度されとるのか。それだけ事故があるのは恐らく何らかの原因があるんじゃないかと思います。道路構造上の問題もあるんじゃないかと考えておるんです、あれは市道です。その辺どのように感じておられるのか。それから先ほどから話聞いておりました非常に私残念に思うのが公共下水の関係お金がかかるので整備が進まんとか計画を縮小したと

いう話をされましたけど、これは市長も職員の皆さんも松山市のことしかご存知ないのでそう言われるのかもしれませんが、ほかの市で公共下水が整備済んでるところたくさんありますね、県下にも。そういうことで、もう少し財政的な問題ではなしに公共下水というのは生活基盤の投資ですので。投資にお金を使う。それによって地域の方が住みやすい生活ができるんです。財政財政、言わんように。私は八幡浜市に住んでおりまして第二の人生を送ろう思ってきたんですけど、八幡浜市、松山の財政規模から比べたら10分の1です。公共下水はほとんど済んどります。それから児童館の話、八幡浜市は2カ所あります。それ比較したら松山市は20カ所できてもいいと思います。そのくらい考え方を少し財政財政と先ほどから言われよんですけど、確かに財政の状況は松山市ええと思いますが、そういうことで、お願いいたします。

【市長】 はい、まず、水路のことについてはこのあと場所を確認させていただいたらと思います。においがするっていうのは水によるものなのか、堆積してる砂、土によるものかいろいろケースがあるみたいなんで場所を確定させていただきたいと思います。そして、皆さんの時間もあると思うんで簡潔に道路の交通事故対策について。

【都市政策課長】 交差点の事故についてはやはりいろんな原因があると思います。まず現場に参りまして対策を検討させていただきたいと思います。

【市長】 ですね。また、今の児童館のことも、現状踏まえて答をお返しさせていただきたいと思います。

【司会】 はい、ちょっと最後が走り気味になってしまいましたけれども、予定の時間がちょっと過ぎてしまいました。最後に市長から本日の感想を申し上げます。

【市長】 皆様方、今日は長時間ありがとうございました。非常に申し訳なかったのが説明して下さったのに時間の関係で削らせていただいたのが非常に申し訳なかったですけどすみません。今日は、いろんな潮見の課題について教えていただいて本当に良かったと思ってます。これは課題を一つ一つ解決していくことによってより良いまちにつながっていく。そして魅力をしっかりと捉えていただくことで、より良いまちにつながっていけると思ってます。重ねて申し上げますけども、41地区の集まりが松山ですからそれぞれの地区がより良い輝きを持って

ば松山はもっと輝くと思いますのでこれからもお力添えいただけたらと思います。  
今日は本当に長時間ありがとうございました。

—— 了 ——